

愛知県議会議員 わたらい克明の

県政ジャーナル



2005年 初夏号 (第24号)

発行人 わたらい克明事務所
豊橋市多米東町二丁目20番地の12



「庶民の目線」を政治に反映 「清潔な政治」は公明党の原点!



◆3月24日「愛・地球博」開会式【上段、下段左】 ◆リニモ開通式【下段中】 ◆万博愛知県館 開館式【下段右】

「ありがとう」

愛知県議会議員 渡会 克明

新緑の候、皆様方におかれましては、ご健勝のこととご推察申し上げます。日ごろからのご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

二月には中部国際空港が開港し、相変わらず、利用者の方、見学者の方と毎日大勢のお客様をお迎えしているようです。そして待ちに待った愛知万博も、三月の開幕からはや一ヶ月余が経過いたしました。入場者数も徐々に上がり、関心の高さに喜んでおります。

今まさに愛知は、日本のみならず世界中から注目される晴れ舞台に立っております。このような大きな国家プロジェクトが二つ同時に実現したわけですが、これは愛知県政にとって画期的なことであり、二〇〇五年は歴史に燦然と輝く年となりました。私も議員として、この場に居合わせたことに感謝をいたします。

地球大交流時代の今まさに、何よりもこの万博を大成功させ、世界中にすばらしい感動を与えることが、私たちに課せられた最大の使命であると考えております。そして、万博の開催という地域にとってかけがえのない財産を十分に生かしながら、新しい時代の元氣な地域づくりを一層進めていきたいと思っております。

ところで、今年の七月には東京都議会議員の選挙があります。二大政党化が喧伝される中で、単国政選挙としてわが党としても大変厳しい選挙であります。私も大勝利のために全力を尽くす決意であります。

今後ともどうか皆様方の変わらぬご理解ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

平成十七年五月



県議会報告



二月定例議会における 私の議案質疑と答弁の一部抜粋と要望

三月九日県議会で平成十七年度予算における議案質疑で以下の二点について質問要領を致しました。県議会録面中継が左記アドレスで視聴できます。

<http://www.pref.aichi.jp/kikai/kyukai/>

携帯電話等への地域の 犯罪情報等の配信について

《質問》

近年の都市化・住民意識の多様化など、時代の流れとともに地域コミュニティの弱体化が進展し、地域社会がもっていた防犯機能が低下しているとの指摘があります。

（財都市防犯研究センター）の調査では、侵入犯罪者の約六割が、「声をかけられたので犯行をあきらめた」と答えています。地域への情報提供により、地域住民が情報を共有し、防犯意識が高まり、住民相互のへ注意喚起、結果、犯罪の抑止効果にもつながります。

犯罪者が一番嫌がるのは地域の連帯と信頼感とも言われ、安全・安心な防犯の街づくりを推進するために、地域の犯罪情報等の配信サービスが効果的と考えます。

この情報提供方法は、現在目覚

しい勢いで普及している携帯電話等へのメール配信が一番効果的であると思います。いずれはデジタル放送により、多機能化したテレビと通信が一体化、さらに進化すると容易に想像されます。そうすれば情報提供の方法は一変するかもしれません。そうなれば子供から高齢者まで情報がすぐぶる得やすくなると思われれます。

そんな中で愛知県警が「パトネットあいち」を創られました。

そこで私は、この「パトネットあいち」について、お伺いいたします。これは、メール情報を希望する県民（登録者）の携帯電話等へ、地域で発生した事件・事故情報を配信するサービスと聞いておりますが、現在の県民の登録状況、地域で発生した事件・事故情報をお伺いいたします。なお、具体的な事例が紹介できればお願いしたいと思います。

（警察本部長答弁）

警察では、犯罪抑止や交通事故防止のために、インターネット等の電子情報機器を活用した事件事故情報等の発信を行ってきており、昨年には、県警ホームページの携帯電話対応サイトである「モバイル

ル愛知県警」に全ての携帯電話からアクセスができるように拡充したところであります。

本年一月から、中部電力が運営する情報サービスシステム「ポケッチュー」というシステムを利用して、警察からのメールを登録者に配信する「パトネットあいち」を試験的に運用を始めたところであります。

パトネットあいちの登録者は、当初一万人を目標として開始し、三月七日現在の登録者は九三二三人となっております。

登録に際しては、「ポケッチュー」のサービスエリアである名古屋市内等を管轄する十八警察署のうち、希望警察署を指定して登録、十八警察署すべてに登録することも可能で、一人平均では約三警察署に登録していただいております。

配信を希望して「パトネットあいち」に登録した人は、誰でもこのサービスを受けることができ、配信される事件事故情報は、この十八警察署管内で発生したものに限定しております。

この配信情報の対象地区については、「ポケッチュー」がエリア拡大を検討中であり、情報の希望地域がない場合は、後に説明する全登録者メールのみの登録も可能となっております。

配信内容につきましては、「パトネットあいち」の登録者に対し二種類のメールを配信しております。

その一つは、「事件事故等メール」、「モバイル愛知県警」に掲載した最新情報を定期的に自動検索し、登録者が希望した警察署管内で発生した強盗、殺人、連続ひったくり、多額盗難、交通死亡事故などの概要を配信するものです。

もう一つは、「全登録者対象メール」、登録者全員に、多発する事件事故の注意情報、警察関係の法律改正のポイント、警察イベント等の開催案内などについて毎月二回程度定期的に配信するものです。

今までの配信状況につきまして、「事件事故等メール」では、開始日の一月十日から三月七日までの間に、路上強盗、コンビニ強盗、連続ひったくり、殺人事件、交通死亡事故などの事件事故メールを三十七件配信しております。

また、「全登録者対象メール」は、三月七日までに、「110番の日広報」と110番のかけ方、振り込み恐喝事件の多発警報、「自動車盗の多発と被害の多い車種」など四件配信しております。

今後とも、身近でタイムリーな情報提供に努めたいと考えております。

《質問》

次に県警におかれては、教育委員会と連携し、様々な取組を実施していると思いますが、大阪府寝屋川市立中央小学校の事件を機にどのような施策を実施しようとしているのかお伺いいたします。

（警察本部長答弁）

教育委員会等とはこれまで人事交流などを行い相互に緊密な連携を保持しているところであります。また、昨年四月の「愛知県安全なまちづくり条例」の制定を機に一層の連携強化を図っているところであります。

こうした状況の中で犯罪情報等の提供につきましては、警察本部から県教育委員会に対して、特異事案の発生時にはその都度、通報し、各警察署と各地域の教育委員会等との間におきましても緊急連絡のネットワークを構築しており、学校警察連絡協議会などの定期的な連絡会議を持つなどにより情報提供や意見交換を行っているところであります。

また、具体的な安全対策として、小中学校の新学期をひかえ、保護者の方々から要望の強い学校周辺に対する警戒につきましては、制服警察官によるパトロール活動を強化するほか、地域住民と一体となった合同パトロールなどを積極的に展開してまいります。

また、警察の持つ犯罪抑止の専門的なノウハウを活用して、学校への不審者侵入を想定した参加・体験・実践型の防犯訓練や防犯教室を継続的に開催することなどにより、学校等の安全の確保に努めて行く所存であります。

学校の安全管理体制について

《質問》

これからの学校の安全確保のため

めには、具体的に地域や警察とどのような連携を考えてみえるのか、お伺いします。

「存知のようにこのたび、大阪府寝屋川市立中央小学校において教職員が殺傷されるといふ決して起こってはならない事件が発生いたしました。

私は、平成十三年六月の大阪教育大学附属池田小学校の事件以来、各学校現場ではあの惨劇を教訓として、二度とあのような悲しいことを起こしてはいけないとの思いから、安全管理対策を講じてきたと信じておりました。しかし、事件は起きました。誰もが守ってやらねばと思っているところで、また事件は起きてしまいました。こういう事件は防ぐことができないのでしょうか。

わが愛知県においても他人事ではありません。文部科学省の指導、県教育委員会をはじめとした取り組み等、様々な対策がなされてきたと思います。

池田小学校事件以来、今日までのように取り組んでこられたか、先的一般質問で答弁のあったところであります。

そこで、大切なことはこれからの安全確保の取り組みであります。先日、文部科学省より「学校の安全確保のための施策等について」という通知があったと理解しておりますが、それには「学校への不審者侵入時の危機管理マニユ

アル」や「学校安全緊急アピール」子どもを守るために「」に基づき施策の再点検を進めることと、三つの留意点に基づき一層の学校安全対策の確保に取り組んでいただきたい旨の内容であったと思います。

その留意点とは、
一、教職員の防犯訓練等の集中実施について
二、学校と地域との連携の推進について
三、学校と警察との連携の推進について

そこで伺いますが、学校と地域との連携については、私が承知しているのは、以前から保護者や地域の役員の方が、通学路の要所に立ち安全を監視したり、行政から委託を受けた方が、学校周辺だけでなく地域内を巡回しております。また学校と警察との連携の推進についても、警察官のバトロールや防犯訓練・防犯教室の実施などがあります。これからの学校の安全確保のためには、具体的に地域や警察とどのような連携を考えているか、お伺いいたします。

県教育委員会としましては、平成十五年度から、県内各地域の保護者や小学校の教員を対象に防犯教室指導者講習会を開催し、県警本部にも講師を依頼しているところであり、本事業については、今後も実施していく予定であります。

昨年四月に愛知県安全なまちづくり条例が施行され、学校等における児童等の安全の確保のための指針が定められました。その中で、地域住民・警察署等の連携について、教職員や子どもたちへの防犯訓練、緊急時対応体制や不審者情報連絡網の整備、通学路のバトロールなど具体的に示しているところであります。

寝屋川市の事件以降、地域・警察等と連携した取り組みが強化されているところですが、さらに、このような取り組みを県内に広めるとともに、特に犯罪の広域性を考慮した市町村間の情報共有化推進も含め、県教育委員会の内部に設置した学校安全対策検討会の中で、学校安全の総点検や有効な安全対策について具体的な取り組みの検討を進めてまいります。

県は安全・安心を県政運営のひとつのキーワードとして、様々な施策を立案し、実施されております。一昔前とは異なり、現在の多様化する社会に対応しようとするところには多くの部局が関わり、それぞれの立場で時間をかけ施策を考える時代であります。類似する施策も存在し、費用対効果を考えると思つたほどの効果が上がらないといった、行政改革とは相反する現実もあります。そこで重要になってくるのが連携であります。連携と一言で言ってもこれが多岐にわたるものであり、以前に比べると

だいが進んできたように思います。例えば、学校と警察の連携であります。ただ今、この度の小学校の殺傷事件に関連して、学校における安全対策について、それぞれの立場から連携の取り組みをお聞きしました。教育委員会も県警も、文部科学省、警察庁からの施策等の指示があり、これに対応しながら、お互いの距離を縮めようとしております。これもなかなか至難の業であると思えます。しかし、次世代の宝である子供を守るといふ大目的のためには、何とかしなければなりません。

県民の側から見ると、様々な行政機関がありますが、皆さんが一致協力して、私たちの安全安心を守ってもらいたいと考えております。県民福祉向上のための施策の連携を進め、必要ならば調整するといった要の存在が、県民の目に見える形で、実効ある機関として知事部局にあるのか。また、警察、教育委員会等も含めた形での連携、調整はできるのか。

警察の「バトネットあいち」をはじめ一部の部局で始まっており、始める必要がある部局もあります。防災局の災害情報や、県民生活部の消費者トラブル問題、環境部の産産情報、健康福祉部の母子世帯に対する求人情報等々考えられます。

こうした部局が、それぞれで予算を組み、企画立案し施策を展開するのではなく、システムにおいては一元化されることが望まれます。運営面でも、民間への業務委託まで視野に入れたシステム構築を図り、合理化を目指すことが必要であろうと思えます。逆に県民の皆さんからの情報もいただき、それを今度は行政側が生かしていく。このように地域社会における安心・安全の確立のために行政と県民が情報を共有するシステムを構築することが喫緊の課題であると思えます。

この県政運営を円滑に進めるためにも、新たな機関の設置を要望して終わります。

県民の安心・安全を確保する立場から、緊急対策のひとつとして、今

特別訪問
策海上
交通対上
空港・交
空港・交
空港・交



2月17日～19日

愛地球博

Exposition of Global Harmony

開催期間：2005年3月25日～9月25日

◆財2005年日本国際博覧会協会
http://www.expo2005.or.jp

来場者200万人突破

4月23日想定より2日速いペースで順調スタート!



(2次元バーコード)

◆夏時間、4月26日からスタート
長久手会場 午前9時～午後10時
瀬戸会場 午前9時～午後6時

愛知万博だより

「サツキとメイの家」入館方法の変更

博覧会協会は、官製はがきによる抽選方式に変更した「サツキとメイの家」の入館応募方法を発表した。

6月分のお申し込みは、4月21日から5月10日まで(当日必着)で、はがきに〈1〉入館希望日〈2〉希望時間〈3〉人数(1枚につき4人まで)〈4〉代表者の連絡先〈5〉入館希望者全員の氏名、年齢、入場券のID番号を記入する。入館時間については、午前10時から午後5時30分まで30分間隔で、希望する時間を指定する(時間指定なしでも可)。

送付先は、〒469-8787 愛・地球博「サツキとメイの家」事務局(住所不要)。当選者には、応募はがきを封書で返送する。

入館当日は、万博入場券のID番号などを照合、さらに身分証明で本人確認もし、販売対策を図る。詳細は協会の公式ホームページ(<http://www.expo2005.or.jp>)

グローバル・ハウス内で、実物大マンモスの模型と並んで記念写真を撮影してもらえるサービスが好評となっている。

入場券の下2けた番号が毎日選ばれ、その番号と同じ券を持っている人と同行者が写真を撮影してもらえる。当たった人たちは、長い牙を持つ迫力たっぴりのマンモスの横に並び、ハウスのアテンダントに写真を撮ってもらう。写真はすぐその場で現像、印刷されてプレゼントされる。



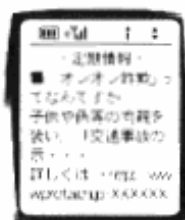
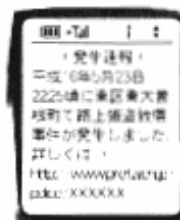
マンモスと記念撮影!

【豆知識】 パトネットあいち

愛知県警では、インターネットコンテンツを使った地域安全への取組みの一つとして、メールマガジン「パトネットあいち」を発行しています。

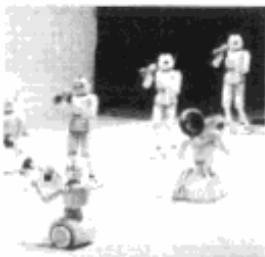
メールマガジン「パトネットあいち」では日々発生する事件・事故に関する情報(発生速報)とみなさまの安全に役立つ情報、防犯に役立つ情報など(定期情報)をお届けしています。

(2次元バーコード→)



トヨタグループ館

人の活動をサポートできる「やさしさ」と「かしこさ」を持ったトヨタ・パートナーロボットが歓迎ステージを開催。トランペットのソロ演奏、次いで7台のロボットバンドの演奏、DJ役のロボットが司会と掛け合いを行い、客席と一体となったラップパフォーマンスを展開する。



接客ロボット



北ゲート・東ゲート・西ゲートで来場者への案内を行う接客ロボット。

日本語のほか、英語・中国語・韓国語にも対応している。

暮らしの相談110番

■自宅 ■〒440-0028
豊橋市多米東町二丁目20番地の12
電話(0532)62-9633 FAX(0532)64-4368
E-mail katsuaki@watarai.org

■県庁 ■〒460-0001
名古屋市中区三の丸3丁目1番2号
電話(052)961-2111 FAX(052)961-2013
URL <http://www.watarai.org/>

○公明新聞購読のご案内○
購読料1カ月 1,835円
新聞購読、後援会入会希望の方は「わたらい」までご連絡ください。

○後援会入会のご案内○
<http://www.watarai.org/supporter/>

公明党法律相談 (予約制)

■2005年■
5月6日(金) 5月20日(金)
6月3日(金) 6月17日(金)
7月1日(金) 7月15日(金)
午後6時30分～ 豊橋市民文化会館
★ご希望の方は『わたらい』まで

◆ 県政へのご要望、ご意見など何でもご相談ください。また、法律・税務相談等もお気軽に ◆